

第3学年〇組 学級活動（2）指導案

日 時：令和2年6月〇日第〇校時

場 所：3年〇組教室

指導者：担任・歯科衛生士

1. 題材

「前歯をきれいにみがくには、どのようにしたらよいだろう」

学級活動（2）ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

（1）児童の実態

給食後の3分歯みがきでは、時間が来ると自然と手鏡をのぞきながら、丁寧に歯をみがくことができている。2年生で、前歯の表側をみがく指導を受けているため、「イー」の口の形にして、歯ブラシの毛先を前歯に当てて小刻みにみがいているが、前歯の内側は手鏡で見にくく、歯の裏側という意識も低いため、しっかり隅々までみがくことはできていない。

（2）題材設定の理由

前歯は、児童にとって一番視覚的に意識しやすい場所に存在する歯である。2年生の時に学習した「前歯は、私たちが食べる時にとっても大切な役割を果たしていること」を思い出し、カラーテストで普段の歯のみがきかたでは前歯が十分にみがけていないことを気づかせたい。そして、2年生で学習した前歯の外側のみがきかたに加えて、もっと上手に前歯をみがく方法を習得することに意欲をもたせるようにしたい。歯科衛生士と連携を図り、具体的に「いつ」「どこで」「だれが」「どのように」歯みがきをするのかということと合わせて、「なぜそのようにするのか」という根拠を理解することで、前歯をよりきれいにみがこうとする意欲を高め、実践化を図れるようにしたい。

3. 第3学年及び第4学年の評価規準

観 点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評 価 規 準	・前歯の特徴や大切さを想起し、正しいみがき方（三面みがき）を身に付け、実践の仕方を知っている。	・自分の前歯の状態や歯みがきの仕方をふり返り、前歯の外側だけでなく内側の歯垢を残さない正しいみがき方について考えている。	・前歯を大切にする意味を再認識して、前歯の裏側を正しいみがき方で歯をみがこうとしている。

4. 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
・いつ、どのように歯をみがいているかアンケートをとるとともに、歯科検診の結果から、どれくらいむし歯があるのか知る。	・給食後の児童の歯をみがく様子を観察し、児童の実態を把握する。	・自分の歯や口の健康に興味をもち、自分の歯のみがき方の課題に気付くことができる。（思考力・判断力・表現力）

5. 本時のねらい

前歯（永久歯）の役割や特徴を知り、カラーテスターで歯垢を染め出す活動を通して、前歯の裏側にあったみがき方を知り、前歯をきれいにみがこうとすることができる。

6. 本時の展開

	児童の活動	指導上の留意点		資料	目指す児童の姿と評価方法
		T1 (学級担任)	T2 (歯科衛生士)		
導入 つかむ	1 アンケートの結果と歯科検診の結果から歯をみがく上の課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・「いつ」「どのように」みがいているか、アンケートの結果と歯科検診の結果を紹介する。 ・がんばって歯みがきしているのに、むし歯があることから、課題化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食後や寝る前にみがいている児童数やむし歯のある児童数を紹介し、児童の歯みがきの仕方のよさを指摘する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果のまとめ ・歯科検診の結果 	<ul style="list-style-type: none"> ・前歯の大切さが分かる。(知識・理解)【観察】
展開 さぐる 見つける	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">前ばのうらがわのみがき方を知って、むし歯をふせごう。</div> 2 カラーテスターで歯垢を染め出し、口の中の汚れ(みがき残し)に気づき、用紙に赤鉛筆で記入する。 3 前歯の裏側のみがき方が分かる。(一本ずつ・かかとみがき)	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーテスターを配る。 ・正しく染め出しができていない児童を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーテスターの仕方を説明する。 ・歯みがきの様子を4段階(A～D)で評価する。 ・立体模型を使って、正しいみがき方を知らせる。いつ→食後・寝る前は念入りにみがく。誰が→本人+仕上げみがき 何のために→大切な歯を守って強い体をつくるため どこで→鏡がある所 どうやって→①鉛筆もち②鏡を見ながら③順番に 1) 前歯の裏側を一本ずつ・歯ブラシの「かかと」みがき 2) 奥歯のかみ合わせ面(30回) 3) 外側(20回) 4) 内側(時間があれば指導) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コップ ・歯ブラシ ・歯みがき ・テスト用紙 ・タオル ・手鏡 ・鉛筆(赤・黒) ・歯の立体模型 ・指導用歯ブラシ 	<ul style="list-style-type: none"> ・前歯の裏側の正しいみがき方(一本ずつ・かかとみがき)を身に付けている。(知識・技能)【観察】
終末 決	4 歯鏡を使って前歯の裏側を観察し、前歯の裏側がきれいになったこ	<ul style="list-style-type: none"> ・前歯の裏側をきれいにみがいて、みがきかたのコツや大切なことを確認す 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導を行い、必要に応じて、具体性のあるめあてや実践方法が設定できるように助言をする。 	歯みがき記録カード	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを生かして、自分に合った

める	とに気づき, 振り返りをする。	る。 <ul style="list-style-type: none"> 自分の課題に合った家庭で行う具体的なめあてや実践方法を学習カードに記入するようにする。 何人か発表するなかで, めあての修正や実践の参考になるようにする。 			めあてをもつ。(知識・技能) 【ワークシート】
----	-----------------	--	--	--	----------------------------

7. 事後の指導保健

関連する教科・・・保健「けんこうな生活 ―けんこうというたからもの―」

児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
・給食後の歯みがきの際, 自分のたてためあてを振り返る。	・給食後の歯みがきで, 学んだことを想起できるように声かけをする。	・自分の立てためあてに進んで取り組み, 正しいみがき方(前歯裏側の一本ずつ・かかとみがき)をしている。(態度)【観察】